

分類 16.5.0.1-1

歐亞局

公機密第一六三二號

昭和九年九月十三日

在滿洲國
特命全權大使 菱刈



外務大臣 廣田 弘毅 殿

昭和九年九月十三日附哈爾濱、新京、奉天、齊々哈爾、海拉爾、
合機密第八五一號 滿洲里往信寫送付

件名

一、在哈蘇聯側ノ在滿白系露人對策ニ關スル件

在滿日本帝國大使館

別紙添付

記録係
ハ蘇聯側ノ白系露人對策ニ關スル件
昭和九年九月九日接受

S 1.6.5.0-2

1338

記

合機密第八五一號

昭和九年九月十三日

在滿洲國
特命全權大使 蔭 隆

別紙添付

在哈蘇聯側ノ在滿白系露人對策ニ
關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通民政部警務局長ヨリ當館警務部長宛通報アリタ
ルニ付御參考迄轉報ス

在滿日本帝國大使館

S 1.6.5.0-2 1339

本館送付先 哈爾濱、新京、奉天
齊々哈爾濱、海拉爾、滿洲里

本館寫送付先 外務大臣

在滿日本帝國大使館

S 1.6.5.0-2 1340

民書特秘收第七七八六號ノ二

康徳元年九月十日

民政部書務司長

總務廳長
國務顧問
外交部政務司長
大使館書務部長
殿

蘇聯共產黨ノ在滿白系露人對策ニ關スル件

標題ノ件ニ關シ在哈蘇聯總領事ニ於テハ最近時局柄日蘇開戦不可避ナリトノ輿論類リニ喚起ナル現狀ニ鑑ミ白系露人ノ懷柔策ヲ重視シ凡有機會ニ於テ白系青年ヲ誘致懷柔セントスル傾向アリタル代運總領事ライヴー卜着任以來之レカ具體的實現ノ方法トシテ白系露人ノ轉籍ヲ容易ナラシムル等積極的轉換政策ヲ實行シツツアルカ狀況左記ノ通りニ有之

右御參考也

在滿日本帝國大使館

S 1.6 5.0-2

1341

記

蘇聯邦共產黨ニ於テハ在滿白系露人ノ存在ト其反蘇革命思想ノ宣傳並ニ運動力在滿蘇聯人ハ勿論蘇聯邦本國住民ノ思想ニ影響スル處極メテ大ナルモノアリ殊ニ最近極東ノ情勢ニ異狀ヲ來シ蘇聯ハ日蘇開戦ヲ不可避トシテ宣傳煽動ニ狂奔シ國民ノ輿論ヲ喚起セントセル現狀ニ於テ益々白系露人問題ヲ重要視シツツアリコムソモルノ野外體育運動或ハ俱樂部ノ宣傳演劇會合等ニハ最近著シク白系青年ヲ誘致セントスルノ傾向アリ又東京駐在蘇聯大使館員タリシ現在哈總領事代理ライヴー卜ハ黨政策ノ實行ヲ期シ白系露人問題ニ關シ轉籍ヲ容易ニスル等積極的對策ヲ講スヘントノ聞込モアリ查察中ノ處今因在哈蘇聯密偵トシテ且ツ諒テ容疑無國籍露人トシテ注意中ナリシ白系露人チームキンハライヴー卜着任後其新白系露人懷柔政策ニ基キ純哈爾濱生レノ白系露人ニシテ未タ放券ヲ有セサルニモ拘ハラス露人トシテノ取扱ヲ受ケ近々滿鐵ニ入國セントスルモノナルカ更ニ

在滿日本帝國大使館

S 1.6 5.0-2

1342

客月四日蘇聯領事館名義ヲ以テ同人ニ對シ別紙ノ如キ公式入國證明
 書ヲ發給セリ之ニ依リテ親蘇黨ヲ有スル白系露人ハ簡易ニ蘇聯籍
 ヲ取得シ得ル事實ト蘇聯共產黨ノ白系露人懐柔策ノ具體的事實タル
 コトヲ認ムルニ足ルモノニシテ殊ニ從來轉籍ニ數ケ年モ出願人ノ動
 靜内査並ニ身元調査トシテ長期間ヲ要シタルニ反シ本名ノ如キ僅々
 半ヶ月ニシテ轉籍シタル事實ニ徴シ將來白系露人ニ對スル懐柔政策
 ト之ニ伴フ在滿白系露人ノ動向ハ相當注意ヲ要スルモノアリト思料
 セラル
 追テ蘇聯領事館ニ於テ從來公文書トシテ此ノ種證明書ヲ發給シタ
 ル事例ナク新規取扱ト認メラル

在滿日本帝國大使館

S 1.6.5.0-2 1343

「別紙」
 一九三四年八月十五日第二十九號
 本證明書ハ延期又ハ更新ヲ許サス
 駐哈蘇聯總領事館
 蘇聯轉國證明書
 駐哈蘇聯總領事ハ本狀提出者蘇聯人チムキン、ウラヂミル、ニコラ
 エウイチ（哈爾濱實生レ）カ浦鹽市ニ向フモノナルコトヲ證明ス
 一九三四年十月十五日迄有效トス
 本證明書ハ蘇聯邦領域居住ノ爲ノ身元證明タルニアラス但シ
 所定ノ蘇聯住民ノ身元證明書受領ノ爲メノ根據タルコトヲ得
 ルモノトス
 生年月日一九一一年
 職 業、勞働者
 家庭狀況 獨身
 同 伴 者 ナシ

在滿日本帝國大使館

S 1.6.5.0-2 1344

公報第一三〇號

昭和九年九月十四日

在武市

領事代理 下村 未 郎



外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

「アムール」州執行委員長及委員長代理更迭ニ關スル件

客年三月「アムール」州ノ組成ト共ニ州執行委員長ニ選舉セラレタル「ワシレーヴィチ」ハ今回極東地方共產黨委員會ノ黨務ニ従事スル事トナリ赴哈セルヲ以テ新ニ執行委員長「ガヴェマン」及其代理「ボレタエフ」選舉セラレタル趣ニテ新任者ノ略歷本月十四日

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

8 1.6.5.0-2

1348

記録簿
ソ連聯邦内政事務局長
昭和九年九月廿七日接寄

附當地「アムールスカヤ・ブラウダ」紙ニ掲載セラレ居リタルニ付左記ノ通何等御參考迄譯報申進ス

記

一、「アムール」州執行委員長「ガヴェマン・カ・カ」(ГАВЕМАН КОХТАРТИН КОХТАРТИНОВИЧ)「ガヴェマン・コンスタンチン・コンスタンチノヴィチ」ハ一八八三年ニ生レ莫斯科高等商業學校ヲ卒業一九〇三年ヨリ一九〇九年迄露西亞社會民主勞動黨(「ボリシエヴィキ」)員タリ一九〇二年及一九〇四年ノ二回ニ亘リ革命運動ニ參加セル廉ニ依リ逮捕セラレ一九〇七年「ヴァトカ」州露西亞社會民主勞動黨ニ入り秘密印刷所ヲ組織ス
一九一九年再ヒ全聯邦共產黨ニ入り「キエフ」郡食糧委員會參與

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

8 1.6.5.0-2

1346

會員トナリ後食糧委員トナレリ
 「デニキン」ノ「キエフ」奪取當時赤軍ニ入ル
 革命戦終息後一九二〇年ヨリ一九二三年迄食糧及「コーペラチブ」ノ仕事ニ従事ス
 一九二三年「ソヴィエト」ノ勤務ニ轉シ「チエルカス」州執行委員長トナリシカ一九二五年ニハ「キエフ」赤旗工場ノ管理者トナル
 一九二七年再ヒ「ソヴィエト」ノ勤務者トナリ「オデツサ」州計畫部長並ニ州執行委員長代理ノ職ニ就キ一九三三年ヨリハ「ウクライナ」最高國民經濟會議長代理トナリ次イテ在莫斯科「ウクライナ」常設代表者代理トナレリ

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

S 1.6.5.0-2 1347

一九三二年ヨリ一九三四年迄ハ農務人民委員部ニ在リテ粒穀機械「トラクター・ステーション」管理本部長代理ノ職ニ居レリ
 二、州執行委員長代理「ボレタエフ・エム・イ」(ГОРТАБ МХКВР РАЙОНА)「ボレタエフ・ミハイル・エフイモウイチ」ハ一九三五年ニ生レ革命前迄ハ被雇傭者トシテ農業ニ従事シ一九一五年キ赤軍ニ召集セララル
 一九一七年「ウラル」ニアリテ革命運動ニ投シ「チエク」軍暴動ノ際捕ヘラレ「トロイツカヤ」及「チエリヤビンスク」監獄ニ投セラレタルカ一九二〇年「バルチザン」ニ依リ釋放セラレタリ
 日本出兵後一九二〇年四月捕虜トナリシカ逃亡シ五月露西亞共產黨ノ秘密團體ニ入り「スバスク」ニ於テ郡黨委員長トナレリ

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

S 1.6.5.0-2 1348

「メルクローフ」覆轍ノ後ハ「スバスク」
「バルチザン」隊ノ組織者トナリ後「バルチザン」隊委員ニ任命セラレ「スバスク」占領ニ参加シ負傷ス
廠東カ「ソヴィエト」治下ニ入りテヨリハ黨務ニ従事シ黨「スバスク」分管區委員會ノ組織部長及黨「ニコリスク・ウスリスク」分管區書記ニ歴任ス
一九二七年ヨリ一九三一年迄社會主義農業「アカデミー」ニ學ビ後地方農業管理長代理、沿海州執行委員長代理ヲ經一九三三年末迄勞農監察委員會地方統制委員長代理其後「ソヴィエト」統制委員會ニ勤務セリ

(今井書記生記案)

在ブラゴウエスチェンクス日本領事館

S 1.6.5.0-2

1349

本信寫送付先

在蘇滿各大使

在哈府總領事

在ブラゴウエスチェンクス日本領事館

S 1.6.5.0-2

1350

(分類A内6類5項0目1-1)

公第3號
昭和九年九月二十一日
在黒河
副領事 大谷二郎
外務大臣廣田弘毅殿
件名
公債寫送附之關スル件
九月二十一日附在滿洲國特命全權大使宛紙
信普通第四號一寫送付ス

昭和九年拾月九日 接受

在齊々哈爾日本帝國領事館

S 1.6 5.0-2 1351

普通第四號
昭和九年九月二十一日
在黒河
副領事 大谷二郎
在滿洲國
特命全權大使 董利隆殿
武昌情報報告ノ件
謀者ノ齋ラセ人 蘇聯武昌援報左記ノ通リ
報告ス
左記
一昨年末ヨリ 武昌造船所ニ於テ造船中ナリ

在齊々哈爾日本帝國領事館

S 1.6 5.0-2 1352

シ「ライター」用汽船「ウクライナ」号ハ本月初旬進水ヲナシタルカ今船ハ黑龍江沿岸各地ニ石油輸送ヲ目的トスルモノニシテ然ル数ニ五〇屯長サ一ニニ米中一七七八米 固ニ目下同地ニ於テ姉妹船同型六隻建造中
 又武市皮革工場ニ於テハ過去十ヶ年ニ亘リ盗難事件頻発シ居リタルカ最近同事件ハ工場長「ゴダマニツク」外教名ノ幹部ニ依リ組織的ニ行ハレ居リタル事發覺ニ各犯人ハ十ヶ年ノ禁錮ニ處セラレタルカ被告人中ノ倉庫主任「エリセヨフ」ハ犯行ヲ察知シ居リタルノミナリシカ旧時有産階級ニ属シタル

在齊々哈爾日本帝國領事館

S 1.6.5.0-2

1353

者トノ理由ニ依リ銃殺ニ處セラレタリ
 又武市要人交送ノ件
 本月十日武市ニ於ケル左記幹部ノ交送アリ
 一 武市警備隊長「クラングロフ」ハ被免サレ元第一軍團司令兼軍務局長ヨリ「バシコフスキー」新タニ任命セラレタリ
 二 「ゲロウ」國境警備隊長ハ「コマロフ」ノ代リニ前副隊長「バリワグ」ヲ任命セラレ
 三 武市洲執行委員長「ワシイロウイッチ」ハ「ハ」ハ「ハ」ガビマシ・コンスタンチン「ハ」ハ「ハ」ノウイッチ「ハ」ヲ任命セラレ

在齊々哈爾日本帝國領事館

S 1.6.5.0-2

1354

尚武市「オゲバウ」全権代表
 (Tomononoriu Tpeginbukuro O'gy)
 名稱ハ今般「内務人民委員洲全権官」
 (Gnomononoriu Speni Ospeimono
 Kamucapmarina Bympenrix Des)
 ト改稱セラシ
 四本月初旬尚武市ニ於テ「パン」ガ全ク缺乏
 セルメテ人心ハ極度ニ動搖シ「陰栗」ナリ
 食漲リタルガ直チニ「ボチカラ」方面ヨリ食料
 品ノ急送ヲ得一時人心落付タル模様ナルガ
 現今諸食料品ノ入手困難ナル由
 五本年以上統地方ヨリ輸送セラレシ薪類ハ僅ク

在齊々哈爾日本帝國領事館

S 1.6 5.0-2 1355

ナリニ為目ト武市ニ於テハ薪ノ入手困難ニ
 エテ市民ハ嚴冬ヲ格ヘ防寒ニハ相当心痛シ
 活レリ
 以上
 本信寫送附先
 外務大臣

在齊々哈爾日本帝國領事館

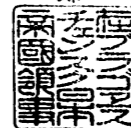
S 1.6 5.0-2 1356

機密公第一三四號

昭和九年九月二十五日

在武市

領事代理 下村 未 郎



外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

新州執行委員長「ガヴエマン」ニ關スル件

本年九月十四日附公第一三〇號拙信ヲ以テ其略歴ヲ報告セル「ガヴ
エマン・コンスタンチン・コンスタンチノヴィチ」ハ本年十二月開
催セラルル「アムール」州「ソヴィエト」大會ノ選舉委員長トシテ
赴任セルモノナルモ名實共ニ執行委員長トシテ振舞ヒ居レル處本

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

6 1.6.5.0-2

1357

昭和九年九月二十五日
新州執行委員長「ガヴエマン」ニ關スル件
下村 未 郎
大島

年五十一才ナリト云ヘハ年齢ノ功ニモ依ルヘキカ其態度ト云ヒ應待
振ト云ヒ柔和ニシテ到底前州執行委員長「ワシレーヴィチ」ト比
較スヘクモ非ラス後者ハ外國領事ノ訪問ニ對シ答禮ヲ返シタル事無
シト聞クニ前者ハ着任早々新任挨拶ノ爲外國領事ヲ歴訪セルカ如キ
以テ其爲人ヲ推知スルニ難カラス
右前信ト關聯シ何等御參考迄

本信寫送付先 在蘇滿各大使

在哈府總領事

在ブラゴウエスチンクス日本領事館

6 1.6.5.0-2

1358

外社第九五七號

昭和九年十月九日

福井縣知事 近藤 駿



昭和九年拾月拾貳日接受

内務大臣後藤文夫殿
外務大臣廣田弘毅殿
警視廳北海道神奈川愛知
兵庫大阪山口福岡長崎
各廳府縣長官殿

最近浦塩方面... 右及中(通)敷候也

浦塩在住鮮人、横暴
最近浦塩在住鮮人、内地人ニ対スル態度ハ特ニ横暴トナシ

防空演習
九月二十七日、兩日向浦塩市ニ於テ防空演習ヲ挙ゲ

潜水艦沈没
九月二十二、三日頃浦塩港金角湾ニ於テ潜水艦、演技中潜水

留場相場、高騰
從來浦塩ニ於ケル留、暗黒相場ハ日貨一月ニ付キ二十五留程度

S 1.6.5.0-2

1360

S 1.6.5.0-2

1359

五

シ緩不緩和サレタル為比較的容易ニ留ヲ以テ購買シ得ルニ
到ルニ到レル為ナリト

列車ノ事故

六

九月十七、八日頃イマン取附近ニ於テ貨物列車ノ大衝突アリ
從業員数名惨死シ引續キ極東へノ軍隊輸送急行列車ガ
イマン鉄橋ニ於テ轉覆約二百名ノ赤軍兵士惨死セル趣ナルガ
何レニ原因其他ニ付テハ官憲ニ於テ極秘ニ附シ居ルモノナリト
赤衛軍ノ凡紀紊乱
最近浦塩及哈府ニ駐屯スル赤衛軍兵士ニ對スル凡紀取締
リ緩慢トナリ漸次軍紀頹廢シタル為各地ヨリ多數ノ淫賣婦
入り込ミ其ノ教唆増セルガ曰耀土耀ハ勿論平日ニ於テスラ
將兵等ハ淫賣婦ト肩ヲ組ミ公然散策シ居ルヲ見受ク
ルニ到レルト

S 1.6.5.0-2

1361

カ
シ

歐亞局

機密第一六三四號

昭和九年十月二十二日

第一機

ソウイ
極左
極右
内政關係
雜貨
係

昭和九年十月十九日接受

別紙添付

大島

在哈爾賓
總領事 森 島 守 人

外務大臣 廣田 弘 毅 殿

件名

蘇聯極東邊疆ノ行政區劃變更等ニ關スル件

本件ニ關スル 十月二十日附 在 滿 大 使 宛
拙信公領機密第一四八七號寫送付ス

6 1.6 5.0-2

1362

REEL No. A-0933

アジア歴史資料センター

計 公前 密 第一四八十八號 簽 付 入
本 件 二 關 之 十 日 附 亦 滿 大 尉 家

蘇聯極東邊疆ノ行政區劃變更等ニ關スル件

附 件

長 春 六 官 署 簽 付 入

蘇 聯 駐 華 總 領 事 官 守 人
齊 仰 爾 賓

附 件 此 年 十 月 二 十 二 日

限 派 添 付

公 領 機 密 第 一 四 八 七 號

昭 和 九 年 十 月 二 十 日

在 哈 爾 濱
總 領 事 官 森 島 守 人

在 滿 洲 國
特 命 全 權 大 使 菱 刈 隆 敏

蘇 聯 極 東 邊 疆 ノ 行 政 區 劃 變 更 等 ニ 關 ス ル 件

本 件 ニ 關 シ 「モ ス コ ー」 及 沿 海 州 ニ 於 ケ ル 新 聞 紙 ノ 報 道 ヲ 綜 合 ス ル ニ 全 聯 邦 中 央 執
行 委 員 會 ハ 極 東 邊 疆 ニ 於 ケ ル 民 族 的 問 題 カ 特 種 ノ 情 態 ニ 置 カ レ ア ル ニ 鑑 ミ 本 年 八 月
中 左 記 新 州 制 ヲ 決 定 發 令 シ タ ル カ 新 設 準 備 其 他 ニ 時 日 ヲ 要 シ 九 月 中 旬 頃 ヨ リ 新 機 關
ノ 事 務 ヲ 開 始 シ タ ル 模 樣 ナリ

記

S 1.6 5.0- 2

1363

1363

9-0.0.1.1.3

州名

中央機關所在地

(一)ウスリースカヤ州(烏蘇里州)

ニコリスク、ウスリースク市

(二)ハバロフスカヤ州(ハバロフスク州)

ハバロフスク市

(三)ゼースカヤ州(ゼーヤ州)

ルフロウオ村

(四)ニージナヤ、アムールスカヤ州(下里龍州)

ニコラエウスク市

→新獨立管區

ハバロフスク州内ニ左ノ獨立管區(サモストヤイテリヌイイオークルグ)ヲ制定ス

記

獨立管區

中央機關所在地

(一)ハバロフスク獨立管區

ハバロフスク市

(二)キヤヤムスキ獨立管區

ウヤゼムスコエ村

(三)コムソモーリスキ獨立管區

コムソモーリスク(元ノ下タンボフスク)

(四)タル、ウルミンスキ獨立管區

(猶太自治州内)

→民族管區ノ管轄變更

左記民族管區ハカムチヤツカ州ノ管轄ニ屬セシム

記

管區

中央機關所在地

(一)チユコトスキ民族管區

アナドウイリ村

(二)コリヤツキ民族管區

カーメンスコエ村

→市名變更

後具加爾州内左記市名ハ全聯邦中央執行委員會ノ決定ニテ變更ス

記

新市名

舊市名

ウラン、ウヂ市

ウエルフネウジンスク市

キヤフタ市

トロイツコフスク市

從來蒙古領内買賣城ヲ舊名ニテキヤフタト稱シ來リタルカ今回買賣城ニ對峙ス

6 1.6 5.0-2

1365

6 1.6 5.0-2

1364

ル「ツ」聯領内トロイツコサフスク市ヲキヤフタト變更シタルモノナリ
尙買賣城ニ對スル露名ハ別稱アルモノノ如シ

右御参考迄變更後ノ極東行政區劃一覽表添付報告申進ス

本信寫送付先

外務大臣

在中華民國公使

在北平首席書記官

在滿谷公館長

在上海、天津各總領事

關東軍參謀長 關東憲兵隊司令官

關東廳警務局長

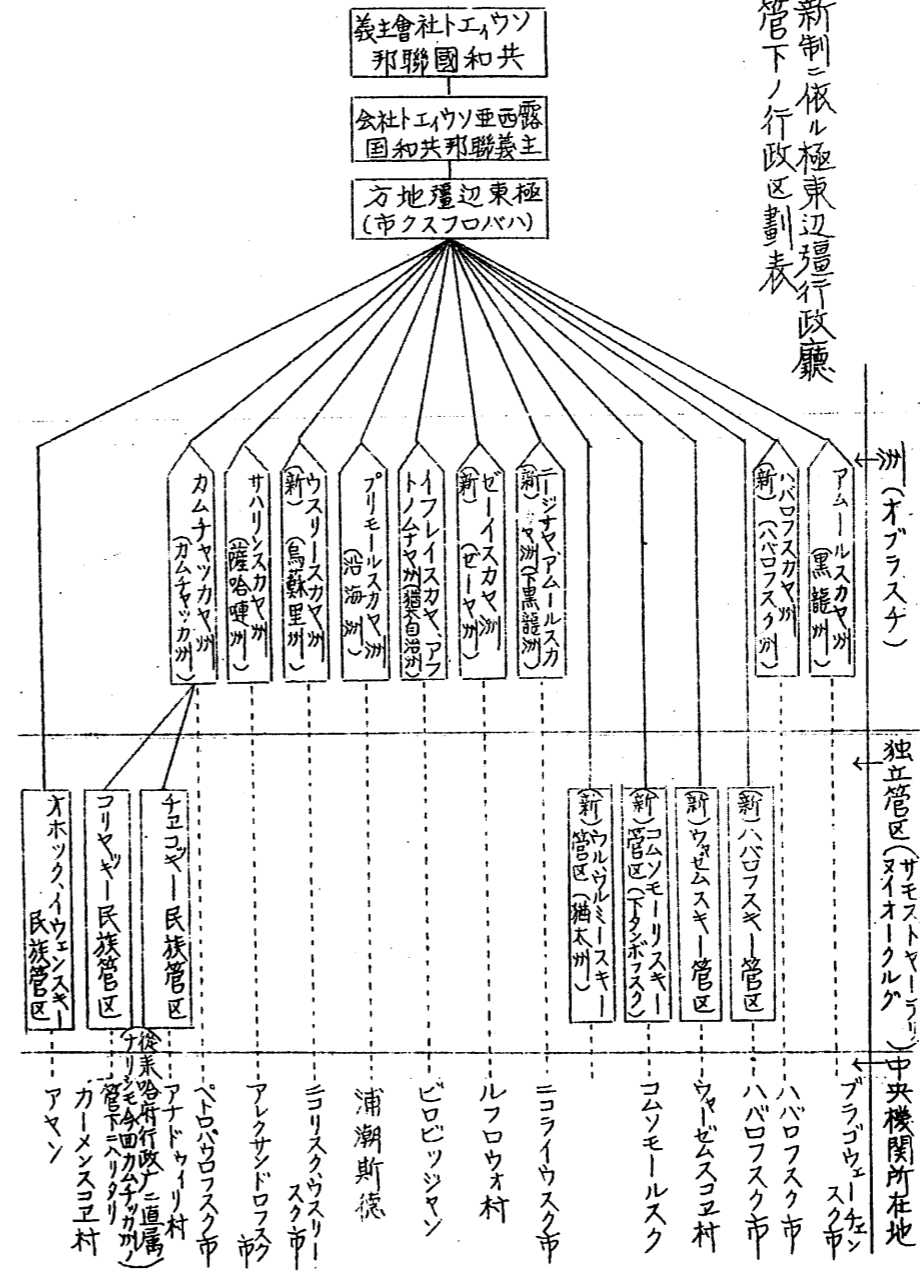
S 1.6.5.0-2

1366

REEL No. A-0933

アジア歴史資料センター

新制ニ依ル極東边疆行政廳
管下ノ行政区劃表



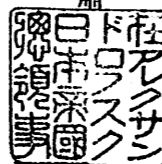
8 1.6.5.0-2 1367

歌亞員

本普通第一一九號

昭和九年十月廿三日 在亞港

總領事 緒 方 登 庸



外務大臣 廣 山 弘 毅 殿

薩哈連州ソヴィエト改選ノ結果ニ關スル件

當州ニ於ケルソヴィエト改選ニ關シテハ幾ニ八月九日附本普通第九四號抽信ヲ以テ報告致直タル處最近漸ク右改選終了シ感々本月二十五日當市ニ於テ第二回ソヴィエト大會召集ノコト、ナレリ而シテ今回改選ノ結果ヲ機關紙上ニ發表シ居レルカ右ニ依レハ大体左ノ如シ

記録件名
蘇聯新内政
蘇聯新領事
蘇聯新領事
昭和九年十月廿三日

昭和九年十月廿三日 接收

記

465.0-1-1

S 1.6 5.0-2 1368

一、州内新ソヴィエト議員數 一千人

(但シアグネウオ外三、四ヶ所ハ報告未着ノ爲之ニ含まス)

内 譯

亞港及オハ市ソヴィエト議員數 三三八人

ポロシヨローク、ソヴィエト議員數 二五七人

柯ソヴィエト議員數 四〇五人

又男女別及黨的關係ヨリ見レハ女性議員數ハ全体ノ一八%ニ非黨員議員數五六%ニ當ル

三亞港市ソヴィエト議員數 一五四人(女三一人)

黨的關係ヨリ見タル内譯

黨員

六一人

S 1.6.5.0-2 1369

青年共産同盟員	二〇人
非黨員	七三人
民族別内訳	
ロシア人	八六%
ウタライナ人	七%
猶太人	三%
白ロシア人	一・五%
文那	〇・五%
朝鮮人	〇・五%

今回ノ改選ハ一九三二年ニ比シ一般住民ノ選挙参加率ト非黨員及女性議員ノ進出ニ於テ著シキ發展ヲ示シ、一九三二年ニ於テハ一般住民ノ選

S 1.6.5.0-2 1370

選挙参加率五〇%ナリシモ本年ハ市及ホシヨローク八九%、二十六ヶノ村落ニ於テ八〇%ニ増大シ一九三二年女性及非黨員議員數ハ天々全議員數ノ一三%及五一%ナリシカ本年ハ夫々一八%及五六%ニ増加セリソウイエト選挙カ實際上ハ黨的指導ノ下ニ相當ノ強壓ヲ加味シテ行ハレ之ヲ以テ直ニ一般住民ノ自由ナル意志ヲ反映スルモノト見ルヘカラスアルハ勿論ナルモ尙次地方民ノ政治參與ニ伴ヒ邊境ニ於テモ「ソ」政權ノ強化ヲ見ツ、アルハ益シ誤ナキ事實ナリ

右何等御参考迄報告申進ス。

本信寫送付先

在「ソ」聯邦 大田大使
在「オハ」 村瀬分館主任

S 1.6.5.0-2 1371

外務局

普通公第一四六號

昭和九年十一月五日

在ハバロフスク

總領事 島田正 謹



外務大臣 廣田 弘 毅 殿

外務全權「メリニコフ」休暇離任ノ件

極東地方外務全權「メリニコフ」ハ本月四日附書翰ヲ以テ今般休暇ヲ得テ一時離任スル旨及其ノ不在中ハ近ク來哈スヘキ在勘察加外務事務官「チホーノフ」其ノ職務ヲ代行スル旨通知シ來レリ尙「メリニコフ」ハ本月五日歐露ニ向ケ當地ヲ出發シタルカ來年一月初メ離任ノ豫定ナル趣ナリ

右報告ス

在ハバロフスク日本總領事館

S 1.6.5.0-2 1372

記録付名 新領事 極東 昭和九年十一月廿六日

本信寫送付先

- 在浦潮總領事
- 在亞港總領事
- 在武市領事代理
- 在オハ分館主任
- 在蘇聯邦大使

在ハバロフスク日本總領事館

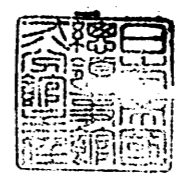
S 1.6.5.0-2 1373

本普通第一四四號

昭和九年十一月十八日

在「オハ」

分館主任 村 瀨 梯



外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

「オハ」市「ソグイエト」議長ノ更迭ニ關スル件

「オハ」市「ソグイエト」議長「リオバ」氏ハ客年十月六日「オハ」區執行委員會議長ニ選出次テ市「ソグイエト」制定後ハ同議長トシテ在職シ所謂當地ニ於ケル行政長官タル關係上當館及我石油利權

在アレクサンドロフスク日本總領事館オハ分館

昭和拾年壹月拾五日接受

S 1.6 5.0-8 1374

企業トノ關係深カリシ處同氏ハ人物温厚ニシテ當館トノ折合モ公私共極メテ良好又帝國利權ニモ相當ノ理解ヲ有シ居リ我石油會社トノ諸繫争問題ニ關シテモ常ニ誠意ヲ以テ其ノ涉ニ當リ我會社側ニ於テモ頗ル好評ヲ博シ居リタリ然ルニ今秋「オハ」市「ソグイエト」大會ヨリ選出セラレテ亞港ニ於ケル第二回州「ソグイエト」大會ニ出席中同大會ニ於テ州執行委員會機關勤務ニ推選セラレタル結果從テ當「オハ」市「ソグイエト」議長ノ職ヲ辭スルコト、ナリタリ依テ十四日開催ノ「オハ」市「ソグイエト」總會ニ於テ同氏ノ後任トシテ職業同盟「オハ」區「ソグイエト」議長「カズロフスキー」氏市「ソグイエト」議長ニ選出セラレタリ同氏トハ從來何等ノ關係ナカリシ爲如何ナル人物ナルヤ不明ナルカ

在アレクサンドロフスク日本總領事館オハ分館

S 1.6 5.0-8 1375

同氏ノ經歷トシテ當地機關紙ノ報スル所左ノ如シ
一八九四年出生十七歳ヨリ「フチロフスキー」工場及造船所ニ於テ
労働者トシテ労働シ一九一八年共產黨ニ入黨ス
自一九一八年至一九二四年間赤衛軍ニ勤務シ一九二四年ヨリ一九三
〇年迄ハ共產黨郷、郡及區委員會書記長トシテ指導的黨務ニ従事ス
一九三一―三二年ノ頃ハ全「ソ」製糖労働者組合中央委員會大衆部
長トシテ次テ一九三二年後期ヨリ一九三四年迄ハ全「ソ」職業同盟
中央會議請願部長代理トシテ活動ス
一九三四年同會議ヨリ「オハ」ニ派遣セラレ爾來職業同盟「オハ」
區「ソヴイェト」議長ノ職ヲ占メ今回市「ソヴイェト」第二回總會
ニ於テ市「ソヴイェト」議長ニ選出セラル

在アレクサンドロフスク日本總領事館オハ分館

S 1.6.5.0-2

1376

右御參考迄報告申進ス
本信寫送付先 在「ソ」聯邦 大田大使
在亞港 緒方總領事

在アレクサンドロフスク日本總領事館オハ分館

S 1.6.5.0-2

1377

普通公第一五六號

昭和九年十一月二十七日

在ハバロフスク

總領事 島田正晴



外務大臣 廣田弘毅 殿

極東地方外務全權臨時代理「チーホノフ」着任ノ件

本件ニ關シテハ本月五日附普通第一四六號拙信ヲ以テ及報告置キタル次第有之處「チーホノフ」氏ハ去ル二十五日來哈翌二十六日着任挨拶ノ爲本官ヲ來訪セリ
右報告ス

在蘇聯邦大使。在浦潮、亞港各總領事
本信寫送付先 在武市領事代理。在オハ分館主任。

在ハバロフスク日本總領事館

S 1.6.5.0-2 1378

シロキエト内政事務局長
極東總領事
昭和九年三月五日 接受

普通公第一九七號

昭和九年十一月二十八日

在ハバロフスク

總領事 島田正晴

外務大臣 廣田弘毅 殿

極東地方執行委員會議長第一代理任命ノ件

本月二十七日附當地「チホオケアンスカヤズヴエズダ」紙ニ依レハ極東執行委員會議幹部會ハ同地方土地局長「ミハイル、グリゴリーエヴィチ、ゲルチコフ」ヲ該執行委員會議長第一代理ニ任命シ同人ノ前記局長タル職ヲ解任セルコトヲ發表セリ
因ニ同紙ハ同人ノ畧歴ヲ掲載シ居レル處左ノ如シ
「ゲルチコフ」氏ハ一八九五年生、一九一六年末社會政治事業ニ參

在ハバロフスク日本總領事館

S 1.6.5.0-2 1379

與積極的ニ活動シ二月革命後莫斯科「ソヴイェト」ノ第一次選舉ニ際シテハ莫斯科「ソヴイェト」確立ノ爲ノ闘争的参加者ノ一人タリキ十月革命後ハ「ソヴイェト」、經濟並黨事業ニ從事シ白「ロシア」黨分管區委員會議長ニ選任サル五年間白「ロシア」並「ウクライナ」ノ全露反革命取締非常委員會及「ゲベウ」ニ於テ積極的ニ活動セリ
其ノ後農業ノ指導的勞務者トナリ穀物「トラスト」社長代理、同社長ヲ歴任、西部西比利亞農業指導ノ任ニ當リ極東地方赴任前迄ハ「ソ」聯邦「ソフホーズ」人民委員代理タリキ
尙同氏ハ「ソヴイェト」及經濟事業ニ參與スル傍ラ黨ノ事業ニ關係シ屢黨ノ各種委員又ハ各種會議代表ニ選任サル現ニ莫斯科「ソヴイェト」ノ一員タルト共ニ全露中央執行委員會ノ一員タリ
右報告申進ス

本信寫送付先

在蘇聯邦臨時代理大使
在浦潮總領事

在ハバロフスク日本總領事館

S 1.6.5.0-2 1380

昭和九年五月廿一日

東亞局



外務大臣 廣田弘毅 殿

東亞局
公帳巻第四一號

昭和九年五月廿一日

在黑河

副領事

大谷 二郎



昭和九年十二月七日附
底巻第五七號

在滿大使 宛往信寫送附ス

件名

一 長上 洲方面、情報報告、件

朝鮮北内政ヲ爲ス
極不滿意ノ事
昭利九年五月廿一日 接受

別紙添付

S 1.6.5.0-2

1381

機密第五七號

昭和九年十二月七日

在黑河

副領事大谷ニ部

在滿洲國

特命全權大使菱刈 隆殿

アムール州方面、情報報告、件

最近対岸蘇聯邦領土ヨリ密行渡来セル白系落人、齋ラセルアムール州方面ノ報ニ関シ其ノ談話要領何等御参考迄ニ左記ノ通ニ致報告ス

記

在黑河日本帝國領事館出張所

S 1.6 5.0-2 1382

去自不當地方ヨリ入蘇セル露西至「フアンスト」党ノ宣傳員ハ渡露後欽道沿線ノ流刑人強制労働所ニ反蘇軍傳流布セルムル平走ナリシカガベウ隊ノ監視嚴シク結局武市附近村落ニ合衆機周紙「ナリシパーチ」並ニ合衆傳ノ散布ヲ行ヒ最近無事歸来セルカ其ノ話トコロニ依リハ昨今アムール州ニ於テハ一九一三年出生ノ徵兵行ハレ居リ徵集後合衆ハ「チタ」方面ニ駐屯セルヲアラシムル州駐屯兵ハ西部ニシベリヤ兵ガ来駐スル趣ナシトコロアムール州ハ末ダ一九〇八年出生ノ徵募兵強留ニ居リ明年除隊サレ、模様ナリ

在黑河日本帝國領事館出張所

S 1.6 5.0-2 1383

「ビ、コフ」等、各村暮ハ年々住民減少シ青壯年
 ノ大部合ハ武市「マトビ」フスキー「コンホー」ニ編入セ
 ラレ嘗テ「富村落」次第ニ食料ト化シ一九三
 〇年當時ニ六〇頭ノ牛ヲ有シタル村カ現在ハ三
 十五頭ヲ餘ス。週々ス牧畜経済ハ全ク破壊セラ
 レ「抗」穀物ノ納付ニ就テモ本年ハ昨年窮迫セン
 経路ニ鑑ミ村民ハ次期収穫時迄令ヲ残置シ「指令
 通」納入ヲ拒否シ居レン状態ナリ。

以上

手使寫送付先

外務大臣 哈爾濱總領事 齊々哈爾濱市 武市各領事

在黑河日本帝國領事館出張所

S 1.6.5.0-2

1384

(分類A門/第(表)01-1)

東亞局

歐亞局

機密第五號

昭和九年十一月二十五日

別紙添付

昭和九年三月拾七日發交

在綏芬河

領事代理 興津良郎



外務大臣 廣田弘毅 殿

件名

蘇聯國境整備増員並日滿直傳状処理二件
本件ニ關スル十一月二十五日附 在滿大使 宛
拙信 機密第一三四 號寫送付ス

S 1.0.5.0-2

1385

寫

機密第一三四號

昭和九年十一月二十三日

在綏芬河

領事代理

興津良郎

在滿洲國

特命全權大使菱刈隆殿

蘇聯國境警備増員並ニ反日滿ノ宣傳

狀況ニ関スル件

(省館警備署署長報告)

本件ニ関シ謀者ノ齎ス處ニ依レハ蘇聯國境(當地以南)ソウバクワン、シヤバルトン、ベローマヤ監視所及其他軍事上重要地点ニ於ケルトテ

ニハ從來ゲヘウ看視員二十名宛配置セラレタル處最近滿洲國側ノ國境線一帶ニ且リ警備力充實セルニ鑑ミ蘇聯側ニ於テ去ル十月一日附ヲ以テ各監視所ニ二十名宛ノ増員ヲナシ嚴密ナル國境警備ニ當ラシメ大宛領ゲヘウ司令部ニ於テハソ聯内ノ住民ヲ續々ト越境セシ情勢ニ鑑ミ國籍如何ニ不拘ラス陣地附近ヲ徘徊スルモノハ銃殺ニ付スル趣キノ佈告ヲ各地ニ貼付シ極力防止策ヲ講シアリ尙ホ滿洲國境地方ニ在住セル農民及勞働者等ニ對シテモ反日滿ノ氣勢ヲ與テサスヘテ浦塩第二十六區宛ニテエイカ責任者ヲシモノノ指道守下ニ當員數十名ヲ國境地方ニ派遣シ目下反滿工作ニ奴カメ居レル趣ナリト謂フ

S 1.6.5.0-2

1387

S 1.6.5.0-2

1386

REEL No. A-0933

右謀知、儘何等御参考迄、報告ス
本信寫送付先

外務大臣

哈爾濱、吉林、間島、浦塩、各公館長

大使館、敬言務部長

管内分署長

S 1.6 5.0-2

1388

REEL No. A-0933

アジア歴史資料センター

歐亞局

極東

第一課

昭和拾年 壹月 七日 接受

公普通第三三五號

昭和九年十二月十日

在「ソヴィエト」聯邦

臨時代理大使 酒 勾 秀



外務大臣 廣田 弘毅 殿

「トロヤノフスキー」ノ「ビロビツジャン」立寄ニ
關スル件

十二月九日哈府發特電トシテ十日「ブラウダ」ノ掲載スル所ニ依レ
ハ「トロヤノフスキー」ハ米國へ歸任ノ途次「ビロビツジャン」ニ
立寄り市内見物ノ上「ワルトゲーム」ナル「コルホーズ」ニ至リ四

在ソヴィエト聯邦日本大使館

S 1.6.5.0-2 1389

時間ニ亘リ同「コルホーズ」ノ企業及文化施設ヲ視察シタル後新聞
記者ニ對シ左ノ通語リタル趣ナリ

予カ「ビロビツジャン」ニ立寄ルコトニ決セルハ偶然ニアラス猶
太自治州ノ建設ハ外國民衆就中猶太人ニ強キ印象ヲ與ヘ今ヤ米國
猶太人ノ同州ニ憧憬スル者多キヲ加ヘツツアリ「ビロビツジャン」
ハ列車カ二三分間停車スル寒村ト思ヒタルカ實際ハ予ノ期待以上
ナリ忌憚ナク言ヘハ本地方ノ開發ノ爲ニハ猶爲スヘキコト多々ア
ルヘキモ建設振ノ旺盛ナルト熱心ナルトハ「ソ」聯民族政策ノ
勝利ヲ保證スルモノナリ云々

右報告ス

本信寫送附先 在米大使

在ソヴィエト聯邦日本大使館

S 1.6.5.0-2

1390

(分類4門6類5項0目1-1)

東亞局

三ノ下

外務大臣 廣田 弘毅 殿

在哈拉爾

領事 米内 山庸



歐亞局

機密第340號

昭和九年十二月十日

記録簿
蘇聯印海防係第...
米内 山庸

別紙添附

昭和九年十二月拾八日

件名 蘇聯側ヨリ逃亡越境露人ニ關スル件

昭和九年十二月十日附機密第三五四號 在滿大使 宛
公信寫別紙送附ス

S 1.6 5.0-2

1391

JK

寫

機密第三五四號

昭和九年十二月十日

在海拉爾

領事 米内山庸夫

在滿

特命全權大使 姜刈 隆 殿

蘇聯側ヨリ逃亡越境露人ニ關スル件

(本館警察署長報告)

本件ニ關シ諜者ノ發セル所ニ據レハ

三河吉拉林附近ニ舉動不審ノ露人三名カ滿人宿ニ滯在中ナルカ同人等ノ語ルトコロヲ綜合スルニ三河地方對岸蘇聯領ニ於テ築城工學ノ

在海拉爾日本領事館

S 1.6.5.0-2

1392

強制労働ニ從事シ居タル所結氷期間ハ該作業不能ノ爲從業者ハ何レモ一泊箇所ニ收容サレ赤軍兵ノ監視ヲ受ケツツアルカ被收容者ハ何レモ労働セサルノ故ヲ以テ糧食ハ極少量ヲ給與サレ從ツテ健康体ノモノハ之レニ堪ヘ難ク困窮シツツアル状態ナルカ吾人三名ハ何レモ死ヲ決シ脱出滿洲國領内ニ入境セルモノナリ云々
右ハ當海拉爾ヨリ三河方面ニ行商ノ爲メ旅行セル一露人カ彼等ト直接對話シタルモノナリト云フ
右 報 告 ス

本信寫送附先 外務大臣 哈爾濱總領事 齊々哈爾濱領事

滿洲里領事 綏芬河領事

在海拉爾日本領事館

S 1.6.5.0-2

1393

(分類 1.6.5.0-2 目1-1)

普通第 三六號

昭和九年十二月十四日

左ノ旨ニ付ルニ付

領事代理 小柳 芳生

外務大臣 廣田 弘毅 殿

西州利ニ於テ行政区域變更ニ付

報告ノ件

西州西州利地方ノ最近ニ於テ工業的發展ニ鑑ミ此ノ大ナル地域ヲ西州西州利地方執行委員會ヲ以テ行政事務ヲ為シ處理スルニ困難トナリ兼テ以テ之ヲ行政區域ハ早急變更セラレ西州西州利地方以外ニ州又ハ地方設ケ

郵政局

昭和九年十二月十四日

昭和三十九年十二月九日 接収

S 1.6.5.0-2 1394

(分類 1.6.5.0-2 目1-1)

執行委員會新設會次定メ以テ

一、ガムスク州ノ創設

ガムスク州ヲ中心トシ現在ノ「ガムスク」州ニ所屬スル各郡及管区並ニ西州西州利地方、チエリヤビン州及タルスク管区ニ所屬スル二十三区ヲ以テガムスク州ヲ創設スルコト。

二、クラスノマルスク地方ノ創設

クラスノマルスク州ヲ中心トシ西州東部西州利地方ニ屬スル三十一区並ニ「ハカススカヤ州」エニセイスキー及「タイムイルスキー」管区ヲ包含スル「クラスノマルスク」地方ヲ創設スルコト。

三、ウケタ州ノ廢止

ウケタ州ノ廢止ニ付所屬シタル各郡東部西州利地方ノ管

S 1.6.5.0-2 1395

本館下置書
 公署ナル所アリ。田畑利ハ被ケル行政区劃ハ一新スラレハニ至レリ。
 未ダ新設ノ方ハ未ダ決ラズ。地方ニ如何ナル区劃ニ至ルニ包
 含セラルルニハ詳細列明スルニ至ラザルニテ取裁御参考ニ送致セ
 ン。

本館寫送付先

在ソノ聯邦代理大使

在神戶新總領事

在松本總領事

在松本市領事代理

S 1.5.5.0-2 1396

REEL No. A-0933

シウエト内政委員兼本
柳平歩助館長

歐亞局

本普通第一三四號

昭和九年十二月十一日 在亞港

總領事 緒方 整

外務大臣 廣田 弘毅 殿

新任州執行委員會議長來着ノ件

本十一日發刊當地機關紙ノ報道ニ依レハ過般第二回當州ソワイエト
大會ニ於テ新ニ州執行委員會議長ニ選出セラレタルニコライ・グリ
ゴリエウイチ・シンスキフ (Николай Григорьевич Минский) (十一
月一日附本普通第一二四號末段) ハ去ル六日結氷ヲ冒シテ入港スル



昭和九年三月廿六日接獲

S 1.6.5.0-2 1397

調三
字
送
付
了

1.6.5.0-2-1

汽船トボリスク號ニテ浦潮經由、哈府ヨリ當地ニ來任セリ、同シテ
機關紙上ニ掲載セラレタル向人ノ略歴左ノ如シ。

一八九九年クールスカヤ縣ニ生レ建築技師ノ教育ヲ受ク。

一九一八年ヨリ共產黨員トナリ、同年義勇兵トシテクールスキ

第六義勇聯隊ニ入り一九二〇年迄亦軍ニ勤務ス、入隊後同モナク

サマラ火藥庫警備隊長トナリタルヲ始メ各種ノ政治的事務ニ當レ

リ。

病氣ノ爲除隊トナリ露西亞共產黨オボヤンスキー郡支部書記長ト

ナル。一九二一年一二年ノ間ハ郡教育部長、クールスカヤ縣教

育部長代理トシテ教育事業ニ從事ス。

一九二三年、莫斯科ニ轉任シ、最高國民經濟會議建築部附トナル。

S 1.6.5.0-2 1398

一九二五年ヨリ二八年迄國家計畫部ニ勤務シ各種大建築ニ關聯ス
ル學研の事務ニ當レリ。

一九二八年勞働國防會議附屬建築委員會ニ、一九二九年更ニ聯邦
勞農検査人民委員部中央監督委員會ニ轉勤シ一九三二年極東地方
ニ轉任ヲ命セラレ、勞農検査人民委員部解消ニ至ル迄、同委員部
極東地方監督委員會議長代理タリ。

最近迄、共產黨極東地方委員會工業運輸部長代理ノ職ニ在リ。一
九三三年以來極東地方州執行委員會幹部會員トナリ今日ニ至レリ。
右何等御參考迄報告申進ス。

BII

6 1.6 5.0-2 1399

REEL No. A-0933

アジア歴史資料センター

レハリヤ

普通第一四二號

昭和九年十二月二十五日

左ノゾオシビルスク

領事代理 小柳 雪生



外務大臣 廣田 弘毅 殿

当地方行政区劃變更ニ因リ報告ノ件

本件ニ因リシテハ本月十日附普通第一三七号ヲ以テ不取散及報告置キタル処、右ノ因ニ全露中又執行委員会新部会ノ決定左ノ通茲ニ致報ス。
為新設地方、州ノ組織委員会ノ類ニ在リ、進次是表
ニラレタリ。

昭和九年十二月九日 接獲

S 1.6.5.0-2 1400

カラスク州組織委員会

委員長 エヌ.エス.コンドラケエフ。 同代理 ア.マ.グロドケエワイケ。

委員 ヌ.カ.ホミン。 ゼ.ペー.カレン。 ゲ.ヂ.カラノフーシノビエフ。

フ.リュコフ。 デ.ア.ブーラトフ。

クラスノヤルスク地方組織委員会

委員長 イ.イ.レシコフ。

委員 ペ.ヂ.アククリヌウシ。 エス.テ.グリエドフ。 カ.ア.パフロフ。

ア.ヂ.エ.リュキイフ。 ノソフ。 ベ.ヂ.エ.クレーバノフ。 以上

記

全露中又執行委員会新部会ノ決定
西部西州利友東部西州利地方「カラスコノイルライシ」及「ケエリヤビンス
ク」州ノゾダイエトを併及公共団体ノ申請ヲ考慮シ、全露中又
執行委員会新部会ハ左ノ進次是ス。

S 1.6.5.0-2 1401

一、ガムスク、ラヤ中心トシ現在、¹「ガムスク、イルライシ、²州、³一切、⁴正及
 民族管区及左記西部部西地地方及⁵「ケエリヤビンスク、⁶州中、⁷即
 ナ西部部西地地方、⁸「ガムスク、⁹「イシリクリスク、¹⁰「ナズイワエフスク、
 「カルタケンスク、¹¹「ケエカリンスク、¹²「ベレケンスク、¹³「イコンニコフスク、
 「リュビンスク、¹⁴「シマルバクワリスク、¹⁵「パワロゴゴドスク、¹⁶「ケエルラクス、
 「カラケンスク、¹⁷正並ニ、¹⁸「ケエリヤビンスク、¹⁹州ノ、²⁰「イセフトスク、²¹「マルワトコフ
 スク、²²「マホコフスク、²³「ベルヂエシスク、²⁴「ガムクケンスク、²⁵「ブルイシモノフス
 ク、²⁶「ロマシエフスク、²⁷「イシムスク、²⁸「カザンスク、²⁹「マスルメンスク、³⁰及「ビ
 クワロフスク、³¹正ヲ以テ、³²「ガムスク、³³州ヲ創設ス。
 ガムスク、³⁴州及西部部西地地方、³⁵同境界ヲ中部境界、³⁶「タールスク、
 管区、³⁷「ベレケンスク、³⁸「イコンニコフ、³⁹「カラケンスク、⁴⁰及「ケエルラクス、⁴¹正
 ノ西境ニ右ニ設ス、⁴²「ガムスク、⁴³州及「ケエリヤビンスク、⁴⁴州、⁴⁵同境界
 ヲ「イセフトスク、⁴⁶「マホコフスク、⁴⁷「ベルヂエシスク、⁴⁸「カザンスク、⁴⁹及「マスル

S 1.6 5.0-2

1403

二、¹「クラスノマルスク、²ラヤ中心トシ西部部西地及東部西地地方ノ左
 記各及管区中、³部々西部部西地地方ノ、⁴「ボゴトリスク、⁵「ビトリユスク、
 「アイケンスク、⁶「ヤザマフスク、⁷「ワシエトルスク、⁸「ミヌシンスク、⁹「クワラゲン
 スク、¹⁰「カラトツダスク、¹¹「エルマコフスク、¹²「ワレンスク、¹³地、¹⁴「ハカシヤ、¹⁵民族、¹⁶州
 及東部西地地方ノ、¹⁷「トルマヤハンスク、¹⁸「エニセイス、¹⁹「カザケノ
 「エニセイス、²⁰「ビロフスク、²¹「ボグケヤンスク、²²「ケジエムスコエ、²³「ベム
 「トルケンスク、²⁴「タセエフスク、²⁵「スタホブワシムスク、²⁶「ヂシエルシムスク、
 「アパンスク、²⁷「エン、²⁸「インゲシスク、²⁹「カンスク、³⁰「イルベイス、³¹「アギンス
 ク、³²「ヨルメスク、³³「ルイビン、³⁴「マンスク、³⁵「アアガセロフスク、³⁶「ハ
 フチンスク、³⁷「マデレイス、³⁸正及、³⁹「ガジエンヤン、⁴⁰「タイルムイルスク、⁴¹民
 族管区ヲ以テ、⁴²「クラスノマルスク、⁴³地方ヲ創設ス。
 境界ヲ西部部西地地方、⁴⁴「ハ、⁴⁵「ビトリユスク、⁴⁶「ボゴトリスク、⁴⁷「ヤ

S 1.6 5.0-2

1402

多岐路なり

蘇亞周

公普通第三四九號

昭和九年十二月十七日

在滿洲里

領事

田中文

外務大臣廣田弘毅殿

件名

チタ州制廢止ニ関スル件

16.5.0-1

本件ニ關スル十二月十七日附 在滿大使 宛

拙信 普通 第三六五 號寫送付ス

S 1.6.5.0-2

1405

昭和九年十二月廿六日接受
別紙添付



全露中央執行委員會議長 エム・カリーニン
書記 ア・キセロフ
一九三四年十二月七日
莫斯科 クレムリンニ於テ
本局寫送付先
在ソ聯臨時代理大使 在滿洲新總領事
在哈爾濱領事 在赤市領事代理 以上

ロシア、シベリヤ、ウラル、及び「ハカシヤ」民族洲、西新境ヲ以テシ、東部
西伯利地方トハ「シシエイス」民族管区、及「ケシエムスク」ボグダクヤ
ンスク、アバンスク、エン、インガシスク、カンスク、イルベイスク、及「ア
ギンスク」区ノ東境ヲ以テス。
三、チタ州ハ廢止シ、チタ州各區ハ東部西伯利地方ニ直接屬セシ
ム。

S 1.6.5.0-2

1404

寫

普通三六五號

昭和九年十二月十七日

在滿洲里

領事 田中文一郎

在滿洲國

特命全權大使 菱刈隆殿

「チタ」州制廢止ニ關スル件

十二月七日附全露中央執行委員會ノ決定ニ依リ「チタ」州制ハ廢止セラレ同州内ノ各「ライオン」ハ東部西伯利地方ニ直屬スルコト、ナレリ

尙右決定ニ依リ東西西伯利、「ゴリキイ」及中部「ゾオルガ」地

在滿洲里日本領事館

S 1.6.5.0-2

1406

方ノ行政區劃改正アリタルカ其中西伯利ニ關スルモノ左ノ通り

一、「オムスク」州ノ新設 「オビ、イルツイシ」州ノ各「ライオン」及民族的各區、西部西伯利地方及「チエリヤピンスカヤ」州中ノ二十三「ライオン」及「タタルスキイ」區ヲ含ム州首都所在地オムスク市

二、「クラスノヤルスク」地方ノ新設 西部及東部西伯利兩地方中ノ三十一「ライオン」、並ニ西部西伯利ノ「ハツカス」民族州及東部西伯利中ノ「エウエンキンスキイ」及「タイムイルスキイ」民族區ヲ含ム地方首都所在地「クラスノヤルスク」市
右ニ依リ西伯利ハ東、西、西伯利及「クラスノヤルスク」ノ三地方ト「オムスク」州ニ分タレ、其中東部西伯利ハ大体地方區劃ノ

在滿洲里日本領事館

S 1.6.5.0-2

1407